

田原市東大浜排水区 大規模雨水処理施設整備事業計画

(様式1)

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	東大浜ポンプ場は昭和51年から供用開始し、整備してから44年が経過しており、除塵設備や雨水ポンプ設備の老朽化が進行している。これらの施設について適切な機能確保を図り浸水被害を防止するため、集中的な雨水処理施設の改築を実施する必要がある。
整備目標	① 本計画における対象降雨 ・ 公共下水道事業で定める計画対象降雨：57.80 mm/hr（5 年確率） ・ 目標とする理由：健全な雨水排水機能の確保及び耐震性能を適切に確保 ・ ハード整備による整備水準の目標：除塵機を自動運転化させることにより、施設の信頼性を高める。 ② 目標設定 i) 生命の保護の観点：計画対象降雨までの雨水を速やかに排除し、地域の浸水を防止する。 ii) 都市機能の確保の観点：同上 iii) 個人財産の保護の観点：同上 iv) その他：特になし 備考) 浸水対策の観点（生命の保護，都市機能の確保，個人財産の保護等）から目標設定を行い，その内容について具体的に記述 ③ ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について i) ハード対策 長寿命化事業に伴う施設整備により施設の健全化を図り、浸水被害を防止することを目的とする。 ii) ソフト対策及び自助 田原市防災対策課が自主防災会一斉防災訓練を呼びかけ、地域住民が自ら訓練を実施し、防災意識を高める。 備考) ハード整備における目標水準を記述するとともに、目標水準を超える降雨に対し被害をできるだけ小さくするためのソフト対策及び自助についても目標を具体的に記述

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	・ 有 （平成 年 月 日策定済み） ・ 策定予定 （令和4年3月末策定予定）			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・ 雨水ポンプ場の機能保全 排水能力 264m3/分 ・ 雨水ポンプ場の耐震化 ポンプ棟、沈砂池、吐出槽、吐き口
			下水道管理者以外	・ 該当なし
		ソフト対策	下水道管理者	・ 該当なし
			下水道管理者以外	・ 出水期事前対応訓練（田原市防災対策課）
	自助	ハード対策		・ 該当なし
		ソフト対策		・ 自主防災会一斉防災訓練（田原市防災対策課）

備考）事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

＊下水道浸水被害軽減総合事業に該当する場合、既存の施設調書を別途添付すること

年度計画（百万円）

名称	令和2年度	令和3年度	計
雨水管渠			
雨水貯留管			
東大浜ポンプ場	314	196	510
計	314	196	510

備考）事業内容に位置づけた施設について年割額（事業費）を記述。

整備済のものは含めない。

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	・ 設置から 44 年が経過している東大浜排水区の東大浜ポンプ場について、健全な雨水排水機能を確保する。(264m³/分 1/5 対応、LCC 縮減額 0.15 百万円) ・ 必要とされる耐震性能を適切に確保する。(レベル 1 及び 2 地震動に対応できる耐震性能) ・ 除塵機を自動運転化させることにより、施設の信頼性を高める。
放流先河川との調整状況	該当なし
その他	該当なし

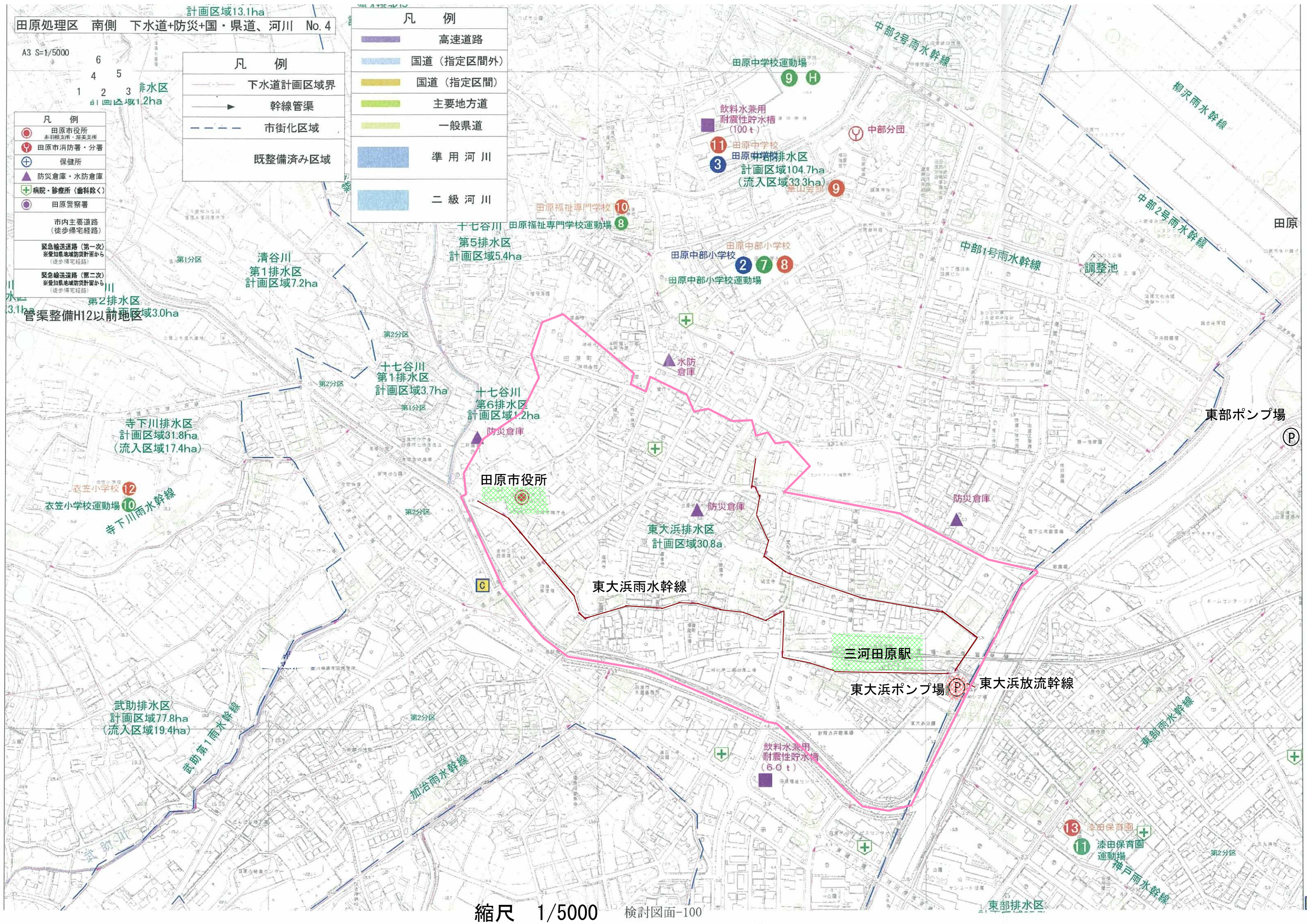
(参考図面)

1. 使用図面

5,000～10,000 分の 1 程度で計画内容がわかるようにする。

2. 図面記載内容

記載内容	色別	適用
貯留施設 施工済 計画期間内施工予定 集水区域	黒 赤 青	貯留施設を 2～3mm の実践で書く。 施設名を記入。 集水区域を 5mm 幅程度で囲む。施工済の場合は黒で全体を薄く塗りつぶす。
浸透施設 施工済 計画期間内施工予定 整備区域	黒 赤 青	対象区域を 5mm 幅程度で囲む。 施設名を記入。 対象区域を 5mm 幅程度で囲む。
ポンプ施設 施工済 計画期間内施工予定	黒 赤	直径 5mm の円に P で表現。 色で塗りつぶす。
雨水又は合流管渠 施工済 計画期間内施工予定	茶 橙	昭和 46 年 10 月 9 日付建設省告示第 1705 号の別表に定める基準に適合する管渠を 1mm の実線で書く。 管渠名を記入。
計画対象区域界	桃	2mm の実線。
① 駅 ② 災害対策基本法に基づく地域防災計画に位置付けられた施設(緊急輸送道路, 防災拠点等) ③ 国の防災関係機関や県庁, 市役所等の施設 ④ 高齢者・障害者等要配慮者関連施設 ⑤ 床上浸水被害の未解消地区 ⑥ 下水道管理者以外の主体との連携により行われている整備 ⑦ 防水ゲート, 止水板又は逆流防止施設 ⑧ 各戸貯留浸透施設	緑 水色 黄色	色で塗りつぶす。 施設名を記入。 水色で全体を薄く塗りつぶす。 黄色で全体を薄く塗りつぶし, 事業主体と事業名を記載。



ひがしおおはま 東大浜ポンプ場長寿命化・耐震化事業

- 昭和51年から供用開始し、整備してから44年が経過しているため、老朽化が進んでいる。
- このため、長寿命化・耐震化事業により、機械設備及び電気設備の更新、施設の耐震化を行い、適切な機能確保を図る。

位置図



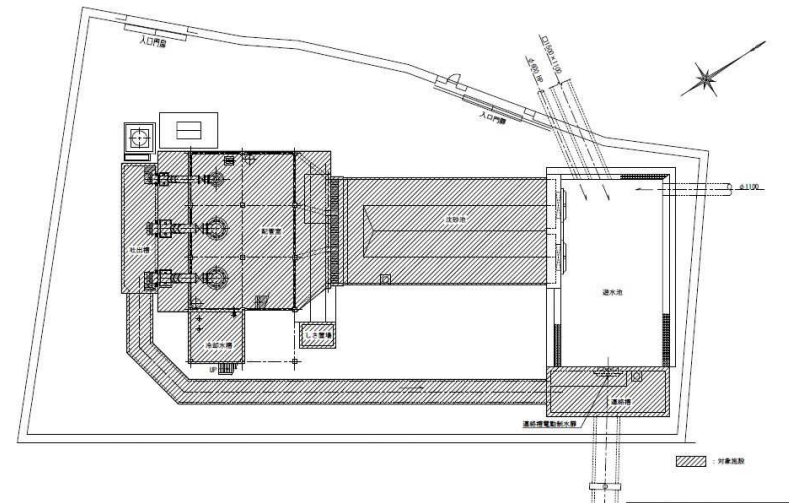
東大浜ポンプ場



事業概要

- 事業内容 : 機械設備及び電気設備の更新、施設の耐震化
- 全体事業費 : 約5億円 ※工事諸費等を含む
- 事業期間 : 令和2年度～令和3年度

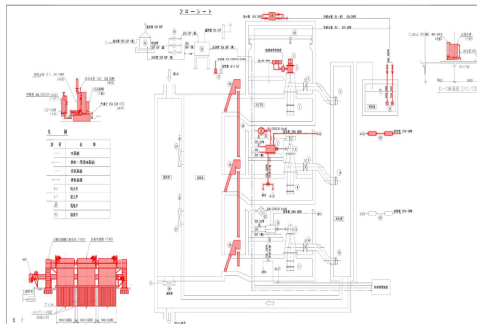
事業範囲



事業の効果

- ・老朽化した設備の更新により、計画降雨57.8mm/hに対する速やかな雨水排除機能が安定的に確保され、地域の浸水被害防止に寄与する。
- ・耐震補強の実施により、兵庫県南部地震程度の地震に対しても、最低限の機能を確保し早期の復旧を可能とする耐震性能を有する。
- ・除塵機を自動運転化することにより、有事の際の迅速な初動対応が可能となる。

更新箇所図



- 状況: 機能・信頼性が低下した施設があり、排水機能が確保できなくなる可能性がある。また、耐震性能が不足する施設があり、レベル1及び2地震動が発生した場合、最低限の機能を確保できない可能性がある。